

2017年7月4日

報道関係者各位

音楽教育を守る会

JASRACによる音楽教室における著作物の使用料徴収に対し、
7月4日、文化庁長官に「反対署名」と「要望および質問書」を提出しました

音楽教育を守る会(会長:三木渡、事務局:東京・目黒区)は、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)による音楽教室における著作物の使用料徴収の動きに反対し、本日7月4日、55万7357名分の「反対署名」と、本会からの「要望および質問書」を文化庁長官に提出いたしました。

音楽教育を守る会では、3月末より署名活動を行い、約3ヶ月の短い期間で55万筆を超える署名が寄せられました。この署名を届けることで、いかに多くの国民が、今回の音楽教室からの使用料徴収に反対の意思表示をしているかを、ご理解いただくようお願いしました。

またあわせて、6月7日にJASRACが、音楽教室から演奏著作権料を徴収するために使用料規程の変更を文化庁に届け出た件に関し、文化庁長官宛に本会からの要望および質問書を提出しました。

文化庁への提出後、都内で会見を行い、下記メンバーから報道関係のみなさまに本件に関するご報告と、質疑応答を行いました。

記

7月4日(火) 午前10時 文化庁長官宛に「反対署名」と「要望および質問書」を提出

同日 午後1時 記者会見開催(会場:AP新橋虎ノ門)

*記者会見出席者:

音楽教育を守る会

会長 三木 渡	一般財団法人ヤマハ音楽振興会 常務理事
理事 日下 昌和	株式会社河合楽器製作所 専務取締役
理事 福田 成康	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 専務理事
理事 山崎 隆志	株式会社開進堂楽器 代表取締役社長
事務局 功刀 渉	一般財団法人ヤマハ音楽振興会 参与 ほか

以上